

寺神戸亮&曾根麻矢子 デュオ・リサイタル



寺神戸 亮
(バロック・ヴァイオリン)

©T.Nagata



曾根 麻矢子
(チェンバロ)

©Noriyuki Kamio

プログラム

- ♪F.M.ヴェラチーニ：ソナタ第1番ト短調 Op.1-1
- ♪ヘンデル：パッサカリアト短調 ♪A. コレツリ：フォリア Op.5-12
- ♪ラモー：ガヴォットと6つの変奏 ♪H. ビーバー：「ロザリオソナタ集」よりパッサカリアト短調
- ♪J.S. バッハ：ヴァイオリンとオブリガートチェンバロのためのソナタ第2番イ長調 BWV1015

※プログラムは変更となる場合があります。

2020年7月12日(日)

午後2時開演 (午後1時30分開場)

A席：3,900円 B席：3,500円 学生：2,900円

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳、佐倉国際交流基金会員証をお持ちの方は、各席料金より10%割引にてご購入いただけます(学生を除く)。

※無料託児室あり、公演2週間前までに要予約。

※未就学児の入場はできません。

※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入後のチケットの払い戻し、変更、キャンセルはお受けできません。あらかじめご了承ください。

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】

● **佐倉市民音楽ホール** (座席数:667席)
(京成うすい駅下車徒歩5分)

☎043(461)6221

〒285-0837 佐倉市王子台1-16



インターネットからの予約や、コンビニエンスストアでの受取りもご利用いただけます。詳しくは佐倉市民音楽ホールのホームページをご覧ください。
<http://www.city.sakura.lg.jp/sakura/ongaku-hall/>

(会員登録(無料)が必要になります。)

(学生及び左記割引のチケットは、インターネットからのご予約ができません。窓口またはお電話にてご予約ください。)

Profile

寺神戸 亮 *Ryo Terakado*

ボリビア生まれ。桐朋学園大学卒業。東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを経てオランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学、シギスヴァルト・クイケンの下で研鑽を積む。

「ラ・プティット・バンド」をはじめヨーロッパを代表する数々の古楽器アンサンブルのコンサートマスターを歴任。日本では「バッハ・コレギウム・ジャパン」のコンサートマスターとして活躍、復元楽器「ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ」を用いた演奏活動など日本を代表する古楽奏者として幅広く活動している。

デンオン・アリアーレ・シリーズを中心に多くのCDを出しており、これまでに2度の芸術祭優秀賞を受賞。'95年、『第1回北とぴあ国際音楽祭'95』において指揮者デビュー。日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。

2015年、東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞を受賞。現在、デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。ブリュッセル王立音楽院、延世（ヨンセイ）大学客員教授。ブリュッセル在住。

曾根 麻矢子 *Mayako Sone*

桐朋学園大学附属高校ピアノ科卒業。高校在学中にチェンバロと出会い、故鍋島元子に師事。1986年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞。その後渡欧を重ね、同コンクールの審査員であった故スコット・ロスに指導を受ける。1991年にエラート・レーベル初の日本人アーティストとしてCDデビューを果たした。

以後イスラエル室内オーケストラのツアーや録音に専属チェンバリストとして参加するほか、フランスおよびイタリア等のフェスティバル参加、現代舞踊家とのコラボレーションなど国際的に活躍。録音活動も活発に行い、エイベックス・クラシックスよりCDを多数リリースしている。

また、J.S.バッハ連続演奏会（浜離宮朝日ホール、2003～2009）に続き、F.クープランとラモーのチェンバロ作品全曲演奏会（上野学園エオリアンホール、2010～2014）を行い、いずれも好評を博した。

1996年「第6回出光音楽賞」、1997年飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。

「チェンバロ・フェスティバルin東京」（2011～2018）芸術監督。

2018年、フランスでおこなわれたスカルラッティのソナタ全555曲を演奏するフェスティバル「スカルラッティ555」に出演。その模様はラジオフランスでも放送された。

曾根麻矢子公式ホームページ<http://mayakosone.com>